

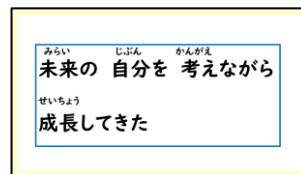
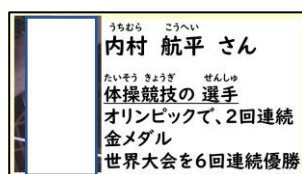
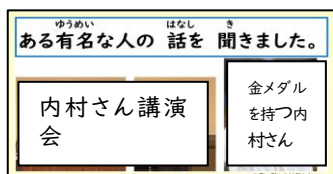
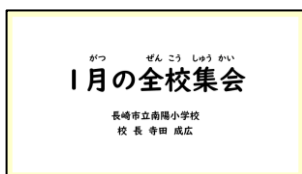
## 2回に分けた全校集会での校長講話

3学期の全校集会は2回予定されていました。講話のネタはいつも探しています。そのような中で、1月19日(木)に、あの内村航平さんの講演会に参加しました。内村さんは北九州で生まれた後に諫早に転居し、自分は長崎県出身とおっしゃっています。ご存じかと思いますが、体操選手としての業績は華々しく、体操総合において「オリンピックで2大会連続の金メダル」、「その間に世界選手権6連覇」と、世界を相手に圧倒的な力を示したレジェンドです。

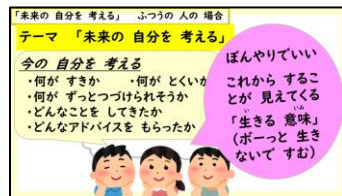
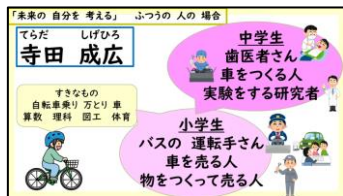
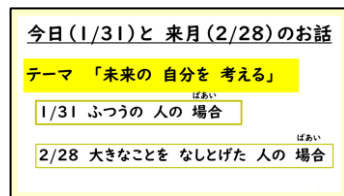


超一流と呼ばれるようにまるまでに、どのような生き方をしてそこにたどり着いたのか興味深々で会場に入りました。講演が始まり、生い立ちから体操人生の歩みをスライド資料を入れながら語られました。感想を一言で言うならば、「超一流となった人の自身の未来像の描き方と、そこに至るまでの精神力と行動力の強さはけた違いである。」です。子どもたちにとっては卒業や修了を控えて、次のステージでの自分の姿を考えてほしい時期なのでちょうどよいと考えて、2回の講話に取り入れようと決めました。

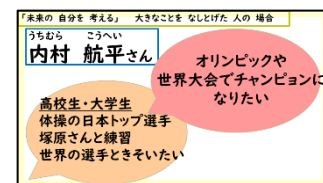
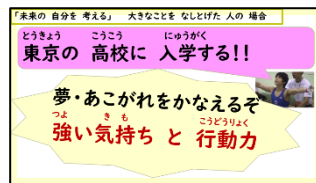
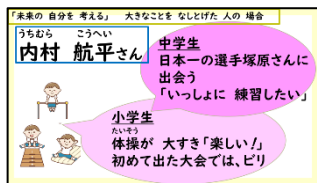
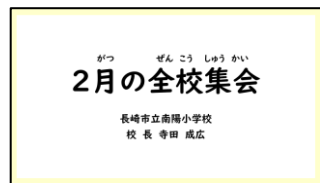
但し、内村さんのように「けた違い」な未来を描く人もいれば、職業を中心に未来を描く人も多くいるので、普通の人として私のことを、2回目に内村さんについて話すことにしました。



まずは、内村さんについて、本県出身であることや、成し遂げた偉業等を紹介しました。その中で、「常に未来の自分像を考えながら成長につなげたこと」が分かり、ぜひ集会で伝えたいと話しました。



テーマを示した後、普通の人として、私が成長と共に考えていた職業を出しながら、最終的に小学校教員を選んだ理由等話をしました。最後に、未来の自分を考えるためには、今の自分はどんな人間かを考えてみると良いことと、未来の自分を考えることはこれからの生き方を考えることにつながると述べて話を終わりました。



先月の2回目の講話では、内村さんの講演で語られたエピソードを紹介しながら、「体操は楽しくて大好きでしていたこと」や、「塚原選手に憧れて一緒に練習したい一心で東京の高校に進学したこと」、「やがて日本のトップ選手となり、世界の舞台で活躍するために目標を細分化して決めたことを徹底してやり続けること」等の言葉を伝えました。また、内村さんは東京オリンピック前に怪我の影響で日本代表落ちが心配されるほどでしたが、その時に何を考え、どう行動したのかも話しました。この2回の講話が、子どもたちが自分の未来像を考える際に少しでも参考になれば幸いです。

